

使っている花 ■  
マム(セイフオリア、シベリア)、  
シンフォリカルポス、ペニバス  
モモ



11月  
November



## マム

花言葉 高貴/あなたを愛します

華やかで可愛らしい秋色のマム  
ゆっくり愛でるひとときを

### プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 花散りしていない、葉もフレッシュなものを選びましょう。
- 水道水でも十分日持ちしますが、切り花栄養剤を使うと色鮮やかに大きく咲きます。
- 下葉が水に浸からないよう取り除き、水替えをこまめにするなど手入れがよければ、ひと月近く楽しめます。

### お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① ボウル状の器を用意し、水を入れて切り花栄養剤を適量加えます。口の広い器には格子状にセロハンテープを貼り(縦横3本ずつ程度)、花留めにします。
- ② 全ての花材は短めにカットし、水に浸かる部分の葉をあらかじめ取り除きます。器の縁に沿って、ペニバスモモの葉をあしらいます。
- ③ 大きなマム、小さなマム、シンフォリカルポスの順番で、全体のフォルムが丸くなるように生けていきましょう。器の底の中心部分に向けて挿すようにすると、まとまりのよいアレンジになります。

日本の国花、美しい文化の継承

マムとは「菊」の英名「Chrysanthemum」の略で、「黄金の花」という意味。11月6日は「いいマムの日」、記念日に登録されました。11月上旬「文化の日」のころは各地で「菊花展」が催され、目を見張るほどすばらしい古典園芸が伝承されています。晩秋は和洋折衷の豪華で多彩なマムを楽しめる季節、和モダンな世界観を満喫できます。

*Chrysanthemum*

